

ミネソタ日本語補習校 安全対策案

目次

用語集

登下校時・学校運営における安全対策 1

1. マスクポリシー 1
2. 朝礼 1
3. ジム 1
4. カフェテリア(昼食・軽食) 2
5. 登下校 2
6. 教室内 3

清掃・消毒 3

体調不良の時の対応策 3

1. 登校前 4
2. 校内で体調が悪くなった場合 5
3. コロナ陽性者が出た場合 6

参照ウェブサイト 8

- A. 学校における新型コロナウイルス感染防止対策指針
- B. マスクポリシー
- C. ソーシャルディスタンス
- D. 体調不良時の対応策
- E. コロナ陽性者への推奨対応策

用語集

CDC	アメリカ疾病予防管理センター
MDH	ミネソタ州保健当局
VVMS	バリービューミドルスクール(新校舎)

登下校時・学校運営における安全対策

【参照】[Guidance for COVID-19 Prevention in K-12 Schools](#) (CDC)

[Best Practice Recommendations for COVID-19 Prevention in Schools for the 2021-22 School Year](#) (MDH)

1. マスクポリシー

【参照】[Recommendations for Wearing Masks](#) (MDH)

[COVID-19 Personal Protective Equipment \(PPE\) Grid for Congregate Care Settings](#) (MDH)

1. 在校中は、個々人のワクチン接種有無にかかわらず、2歳以上であれば保護者を含む全員にマスクの着用を義務付ける。
2. 布マスクは洗濯した清潔なもの、既製品のマスクは新しいものを使用する。
3. マスク着用時は鼻と口を覆う。(健康上の理由で、マスクを着用することができない場合を除く)
4. 予備のマスクを必ず持参する。

2. 朝礼

1. 大人数での集会を避けるため、現時点では9月中は行わない。10月以降については、その時点での情勢を見て決定する。
2. 連絡事項は、全校メールあるいは運営だよりで伝達する。

3. ジム

1. ジムを使用する際も、マスクを着用する。
2. ジムでの活動中に息苦しくなった場合は、すぐに講師に伝えて指示を仰ぐよう、徹底して生徒に指導する。
3. ボール遊び、ダンス等ソーシャルディスタンスの保てる運動を取り入れる工夫をする。
4. 物を媒介しての感染確率は低いことから、遊具の共有は可とする。但し、使用前・使用後には必ず手指の消毒を行う。

4. カフェテリア(昼食・軽食)

1. **VVMSでは、教室内での飲食は禁止。教室内は、水のみ可。**

2. 昼食および軽食はカフェテリアで取る。
3. 食事前、生徒は必ず手洗いをを行う。
4. 同居家族以外の人との食品の共有は禁止する。

5. 登下校

1. 登下校時は、なるべく同居家族以外の人との距離を保ち、生徒の送迎を手早く済ませることで一カ所に大人数が留まることのないよう留意する。
2. 保護者は、アレルギー対応や委員会活動等により必要な場合は校舎内カフェテリア等を使用して良いが、不要な滞在は避ける。
3. 放課後等に、校内で学年を超えた生徒同士が交流することは避ける。保護者の都合で放課後校内に残る必要がある場合は、ソーシャルディスタンスを取るなど、感染予防策に留意する。

6. 教室内



【参照】新校舎の教室

1. 各部屋は換気が行われていることをVVMSに確認済みであるが、授業中、各教室のドアは可能な限り開けておく。また、随時窓を開けて換気を行う。
2. 生徒は毎回、同じ席を使用する。クラス内でグループ分けをする場合は、毎回同じグループとする。
3. 幼稚部合同の歌の会は行わない。
4. 教室内で3フィートのソーシャルディスタンスを確保することは困難だが、マスクの正しい着用、生徒のグループ分けや座席配置の固定、清掃・消毒の徹底等複数の対策を取ることで、可能な限りの感染予防に努める。

【参照】[3. Physical Distancing: Guidance for COVID-19 Prevention in K-12 Schools](#) (CDC)

清掃・消毒

VVMS側が金曜日の夜に校舎内の清掃を行い、補習校が土曜日に使用できる状態にする。補習校の使用後も、VVMSが再度清掃を行う。ただし、補習校内で大勢が利用する場所(カフェテリア等)については、使用後に簡単な清掃を行うことが推奨されている。そのため、補習校では下記の通りの清掃を行うこととする。

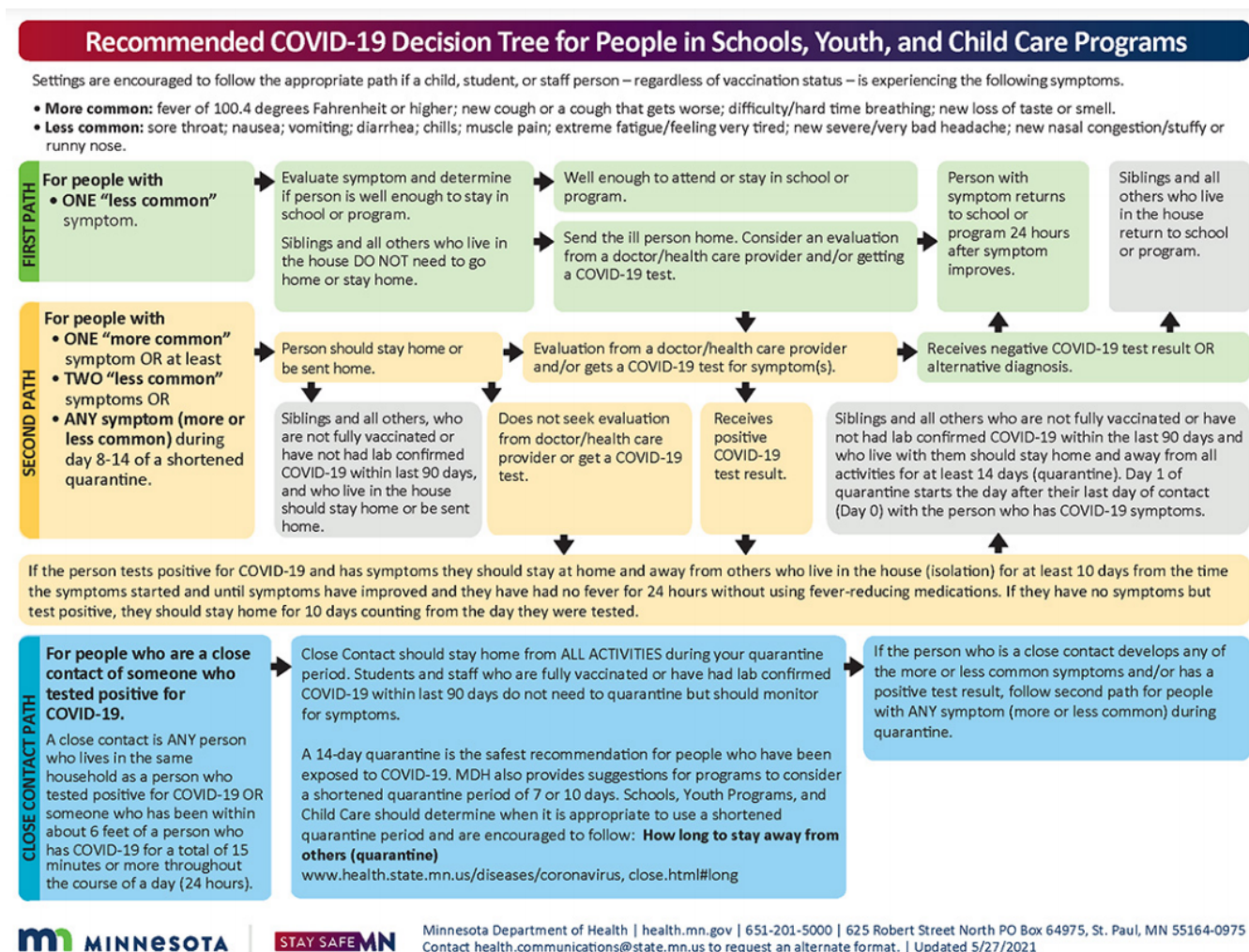
学年	清掃担当者	清掃場所	清掃タイミングと方法
幼稚園	クラス当番	各教室 机	工作後等目立つ汚れがある場合や、授業終了後、拭き取り消毒を行う*。
		教室内で使用する備品、遊具	授業終了後、必要に応じて拭き取り消毒を行う*。
		ジム	使用前後に手指消毒を行う。
		カフェテリア	使用前、またテーブルに目立つ汚れがある場合には使用後に、拭き取り消毒を行う*。
小学生、中1	補助講師 および 生徒	各教室 机	目立つ汚れがある場合に、随時行う*。
		ジム	使用前後に手指消毒を行う。
		カフェテリア	使用前、またテーブルに目立つ汚れがある場合には使用後に、拭き取り消毒を行う*。
中2以上	担任 および 生徒	各教室 机	目立つ汚れがある場合に、随時行う*。
		ジム	使用前後に手指消毒を行う。
		カフェテリア	使用前、またテーブルに目立つ汚れがある場合には使用後に、拭き取り消毒を行う*。
保護者	日直	各教室	授業終了後、目立ったゴミを拾う。
保護者	未定	オーデトリウム	使用時、VVMSのガイドラインに従う。

* VVMS指定の消毒液をかけ、ペーパータオルで拭き取る。各教室とカフェテリアでは、使用する消毒液が異なるので注意が必要。清掃終了後は必ず手洗いを行う。

体調不良の時の対応策

【参照】[Narrative for the Recommended COVID-19 Decision Tree for People in Schools, Youth Programs, and Child Care Programs](#) (MDH)

下記チャートを参照。



1. 登校前

- 本人に下記の症状がある、または状況に当てはまる場合、(A条件は1つでも当てはまる場合、B条件は2つ以上当てはまる場合)登校できない。

＜A条件＞

- 発熱(100.40°F/38°C以上)

- 咳
- 息切れ、呼吸困難
- 味覚、嗅覚の喪失

＜B条件＞

- 喉の痛み
 - 嘔吐、下痢、吐き気
 - 悪寒、筋肉痛または倦怠感
 - 頭痛
 - 鼻詰まり、鼻水
- この場合、コロナ検査で陰性となるか、もしくは別の病気と診断され症状が治まってから24時間以上経過後に登校が可能。
 - 症状がありながら、コロナ検査を受けない場合は、下記3つの条件を全て満たす場合のみ登校が可能。
 1. コロナを疑う症状発症後、10日が経過
 2. 解熱剤なしで熱が治まり24時間以上経過
 3. 完全に無症状であること
 - 症状が出てから10日以内に登校を希望する場合は、陰性の検査結果、または診断書（ストレップや他の診断結果）の提出が必要である。
2. 濃厚接触者とみなされる場合
- コロナ陽性者と接触した日から14日間は、たとえコロナ検査で陰性判定が出た場合も、登校できない。
 - ワクチン接種済みの者、もしくは過去3か月以内にコロナ陽性と判定された人は自粛の必要はない。
 - 濃厚接触者の同居人、および同居する家族は自粛の必要はない。
3. コロナ検査陽性判定の場合
- 本人にコロナ陽性判定結果が出た（もしくは、医者に近い診断をされた）場合、下記3つの条件を全て満たすまでは登校できない。
 1. コロナを疑う症状を発症してから、または無症状だがコロナ検査で陽性と判断されてから10日が経過
 2. 解熱剤なしで熱が治まり24時間以上経過
 3. 完全に無症状であること。
4. 家族等、同居人について
- 家族等、同居人にコロナ陽性判定結果が出た（もしくは、医者に近い診断をされた）場合、陽性者との接触があった最後の日から14日間の自粛および、無症状となるまで登校できない。ただし、ワクチン接種完了者はその限りではない。

2. 校内で体調が悪くなった場合

1. 校内で下記の症状、(A条件は1つでも当てはまる場合、B条件は2つ以上当てはまる場合)がみられる生徒は、直ちに隔離し、保護者に連絡する。生徒にソーシャルディスタンスを保たせ、使用した場所の清掃・消毒を行う。体調不良者が、講師等大人の場合は直ちに帰宅させ、使用した場所の清掃・消毒を行う。

<A条件>

- 発熱(100.40°F/38°C以上)
- 咳
- 息切れ、呼吸困難
- 味覚、嗅覚の喪失

<B条件>

- 喉の痛み
- 嘔吐、下痢、吐き気
- 悪寒、筋肉痛または倦怠感
- 頭痛
- 鼻詰まり、鼻水

- 生徒の隔離を行う場合は、運営委員の事務室を使用する。運営委員はカフェテリアに移動する。
 - 隔離した生徒の保護者に連絡し、迎えに来てもらう。基本的に、保護者は30分以内で迎えに来られる場所にいることを登校の条件とする。保護者に連絡が取れない場合、緊急連絡先の登録者に順に電話連絡し、迎えに来てもらう。
 - コロナを疑われる症状がみられる場合、保護者と相談の上、兄弟も一緒に帰宅してもらう。
 - 呼吸困難等の症状がある場合は生死に関わる為、CDCのガイドラインに沿って、直ちに救急車を呼ぶ。
 - 隔離した生徒の付き添いは、ソーシャルディスタンスを取ったうえで、日直が行う。フェイスシールドとマスク、手袋を着用する(隔離生徒用に常備する)。
 - 運営委員と見回り隊は、隔離生徒が出た教室の机・椅子やドアノブ、使用したトイレのドアノブ等の清掃を行う(生徒の前では過剰に反応しないよう留意する)。
 - 隔離生徒が下校後、日直と見回り隊、運営委員が事務室の換気と清掃を行う。
 - 講師が体調不良になった場合、講師本人は直ちに帰宅し、補助講師が授業を引き継ぐ。補助講師のいない学年は、自習または保護者に連絡を行い、帰宅させる。
 - コロナ検査で陽性の結果が出た場合は、速やかに学校に連絡してもらう。
2. 上記生徒および家族は、コロナ検査で陰性となるか、もしくは別の病気と診断され症状が治まってから24時間以上経過後、登校が可能。それ以外の場合は、下記3つの条件を全て満たすまでは登校できない。
 1. コロナを疑う症状を発症してから10日が経過
 2. 解熱剤なしで熱が治まり24時間以上経過
 3. 完全に無症状であること
 3. 10日以内に登校を希望する場合は、陰性の検査結果、または診断書(ストレップや他の診断結果)の提出が必要。

3. 補習校内でコロナ陽性者が出た場合

【参照】[Recommendations for Handling a Confirmed Case of COVID-19](#) (MDH)

1. 補習校生徒、またはその家族等、同居人にコロナ陽性者が出た場合、直ちに学校に連絡して頂く。
2. MDHおよびVVMS にコロナ陽性者の状況について報告し、指示を仰ぐ。
3. 濃厚接触者とみなされる家庭に個別に連絡。
4. 小1～高3の生徒に限り、両者がマスクを正しく着用しており、教室の換気や清掃、消毒等の複数の感染防止対策が取られている場合は、例外的に濃厚接触者とはみなされない。この例外措置は、講師やスタッフ等の成人には当てはまらない。校内でコロナ陽性者が出た場合の授業形態については、その時点でのクラス内のワクチン接種状況とCDCの指針に従う。
5. コロナ陽性者のクラスは、2週間オンラインにて授業を行う。但し、上記4の指針に従い、変更される可能性もある。

【参照】[Exception for K-12 indoor classroom settings only: Best Practice Recommendations for COVID-19 Prevention in Schools for the 2021-22 School Year](#) (MDH) (p.9)

※上記条件は常に更新され、それに従う。

参照ウェブサイト

A. 学校における新型コロナウイルス感染防止対策指針

- [Guidance for COVID-19 Prevention in K-12 Schools](#) (CDC)
- [Best Practice Recommendations for COVID-19 Prevention in Schools for the 2021-22 School Year](#) (MDH)

B. マスクポリシー

- [Recommendations for Wearing Masks](#) (MDH)
- [COVID-19 Personal Protective Equipment \(PPE\) Grid for Congregate Care Settings](#) (MDH)

C. ソーシャルディスタンス

- [Physical Distancing: Guidance for COVID-19 Prevention in K-12 Schools](#) (CDC)

D. 体調不良時の対応策

- [Narrative for the Recommended COVID-19 Decision Tree for People in Schools, Youth Programs, and Child Care Programs](#) (MDH)

E. コロナ陽性者への推奨対応策

- [Recommendations for Handling a Confirmed Case of COVID-19](#) (MDH)